

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社 テリロジー  
 コード番号 3356 URL <http://www.terilogy.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津吹 憲男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 阿部 昭彦  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 03-3237-3291

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,186	△11.9	△119	—	△130	—	△131	—
25年3月期第2四半期	1,347	—	10	—	4	—	△47	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △129百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△8.58	—
25年3月期第2四半期	△3.08	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
26年3月期第2四半期	2,691	—	953	—	35.4	62.01		
25年3月期	2,816	—	1,083	—	38.5	70.46		

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 953百万円 25年3月期 1,083百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	13.7	20	—	10	—	10	—	0.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) — 、 除外 一社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,680,000 株	25年3月期	15,680,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	300,000 株	25年3月期	300,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	15,380,000 株	25年3月期2Q	15,380,000 株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、発行済株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、今後成長が見込まれる市場を「重点ターゲット」と定め、事業部間のシナジー効果を最大限に発揮し、顧客基盤の強化・拡大を図りました。

また、強い競争力と高い利益性を実現するため、海外商品の発掘及び自社製品の開発、その販売に注力するなど、業績の回復、安定成長への基盤づくりに向けた活動に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間における部門別の概要は次のとおりであります。

#### (テレコム部門)

当部門では、スマートフォンの更なる普及に伴い、高速、大容量化したLTEサービスの開始による大規模ネットワークのモニタリング（可視化）案件は増加傾向にあります。

また、高速モバイル通信サービス事業者（WiMAX）向けユーザ認証基盤構築案件、電力系ブロードバンドサービスプロバイダ向けインターネット接続支援ソフトウェア開発案件の受注活動は、引き続き堅調に推移しています。

しかしながら、当部門の売上を牽引していたWi-Fiサービス向けインフラ構築案件がひと段落したことから、当部門の売上高は減少しました。

その結果、売上高は252百万円（前年同期486百万円、前年同期比48.1%減）となりました。

#### (グローバルビジネス部門)

当部門では、前年度、欧州債務危機に端を発した景気低迷の影響がひと段落したことから、国内外の金融・証券市場は、再び活性化する兆しが見られます。

また、昨年秋より営業活動を開始したアジア・パシフィック地域でのテレコム事業は、イベントにて獲得したりードに対する営業活動は堅調に推移しておりますが、当部門の売上に貢献するまでには至りませんでした。

その結果、売上高は13百万円（前年同期4百万円、前年同期比201.0%増）となりました。

#### (エンタープライズ部門)

当部門では、多くの企業はIT投資に慎重な姿勢を継続し、市場での価格競争は依然として厳しい状況にあるなか、当社の主要顧客である大手製造業を中心に、ネットワークインフラ構築、ビデオ会議システムなどの受注活動は堅調に推移しました。

また、前年度より、特定の企業や団体を標的にしたサイバー攻撃が急増したことから、入口対策のネットワーク不正侵入防御セキュリティ商品や、出口対策の標的型攻撃対策クラウドサービスの受注活動は引き続き堅調に推移しています。

その結果、売上高は382百万円（前年同期317百万円、前年同期比20.8%増）となりました。

#### (保守サービス部門)

当部門では、急激な円安による保守関連経費の上昇に対し、更なる保守業務の内製化による業務委託費の削減及び、保守契約更新率の向上に努めましたが、当部門の売上高は前年同期比ほぼ横ばいで推移しました。

その結果、売上高は538百万円（前年同期539百万円、前年同期比0.3%減）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高1,186百万円（前年同期1,347百万円、前年同期比11.9%減）となりました。

損益面では、全社が一丸となり、更なる円安を想定した経費の削減に取り組んでまいりました。

しかしながら、為替の影響のない自社開発製品「momentum」が、リリースの遅れにより売上に貢献できなかったことに加え、度重なる円安の進行により仕入れ価格が上昇したことから、十分な利益確保が困難な状況となりました。

その結果、営業損失119百万円（前年同期は営業利益10百万円）、経常損失130百万円（前年同期は経常利益4百万円）、四半期純損失は131百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産は2,241百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が310百万円減少し、商品が54百万円増加、前渡金が90百万円増加したことによるものであります。固定資産は450百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が17百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結累計期間末における流動負債は1,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。これは主に買掛金が67百万円減少し、前受金が81百万円増加し、未払費用が7百万円減少、未払消費

税が8百万円減少したことによるものであります。固定負債は73百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主にリース債務が11百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産合計は、953百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失131百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.4%（前連結会計年度末は38.5%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、為替の影響のない自社開発製品「momentum」が、リリースの遅れにより売上に貢献できなかったことに加え、度重なる円安の進行により仕入れ価格が上昇したことから、十分な利益確保が困難な状況となりました。この結果、営業利益、経常利益、当期利益が前回発表予想を下回る見通しであることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年10月30日）公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,605,097	1,294,394
受取手形及び売掛金	435,035	446,461
商品	2,685	56,775
仕掛品	4,621	3,511
前渡金	279,449	369,712
その他	23,913	73,466
貸倒引当金	△2,752	△2,977
流動資産合計	2,348,050	2,241,344
固定資産		
有形固定資産	115,018	115,165
無形固定資産	108,188	90,494
投資その他の資産	245,270	244,925
固定資産合計	468,477	450,585
資産合計	2,816,527	2,691,929
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	183,462	115,511
短期借入金	910,200	913,000
未払法人税等	7,395	4,105
賞与引当金	19,813	17,124
前受金	460,496	541,999
その他	89,343	73,200
流動負債合計	1,670,711	1,664,942
固定負債		
資産除去債務	10,473	10,473
その他	51,614	62,776
固定負債合計	62,088	73,249
負債合計	1,732,799	1,738,191
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,182,604	1,182,604
資本剰余金	630,370	630,370
利益剰余金	△446,758	△578,668
自己株式	△280,637	△280,637
株主資本合計	1,085,579	953,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,003	△1,193
為替換算調整勘定	1,152	1,262
その他の包括利益累計額合計	△1,850	68
純資産合計	1,083,728	953,737
負債純資産合計	2,816,527	2,691,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,347,223	1,186,893
売上原価	869,220	870,904
売上総利益	478,002	315,988
販売費及び一般管理費	467,105	435,359
営業利益又は営業損失(△)	10,897	△119,370
営業外収益		
受取利息	108	93
受取配当金	1,054	424
為替差益	3,505	—
その他	76	64
営業外収益合計	4,744	581
営業外費用		
支払利息	8,390	7,758
為替差損	—	4,016
支払補償費	2,410	—
その他	40	—
営業外費用合計	10,841	11,774
経常利益又は経常損失(△)	4,800	△130,563
特別利益		
投資有価証券売却益	5,682	—
特別利益合計	5,682	—
特別損失		
投資有価証券評価損	14,115	—
商品廃棄損	41,904	—
特別損失合計	56,019	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△45,537	△130,563
法人税、住民税及び事業税	1,890	1,403
法人税等調整額	△68	△56
法人税等合計	1,821	1,346
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△47,358	△131,909
四半期純損失(△)	△47,358	△131,909

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△47,358	△131,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,934	1,809
為替換算調整勘定	11	109
その他の包括利益合計	8,946	1,919
四半期包括利益	△38,412	△129,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,412	△129,990
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△45,537	△130,563
減価償却費	39,081	50,070
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,987	△2,688
貸倒引当金の増減額(△は減少)	902	224
受取利息及び受取配当金	△1,162	△517
支払利息	8,390	7,758
売上債権の増減額(△は増加)	△80,803	△11,426
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,556	△52,979
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,956	△67,950
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,682	—
投資有価証券評価損益(△は益)	14,115	—
その他	32,885	△82,002
小計	△27,198	△290,075
利息及び配当金の受取額	1,165	510
利息の支払額	△8,485	△8,183
法人税等の支払額	△3,780	△3,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38,298	△301,528
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△258,714	△331,265
定期預金の払戻による収入	268,464	335,924
有形固定資産の取得による支出	△14,557	—
無形固定資産の取得による支出	△28,377	△2,100
投資有価証券の売却による収入	14,452	—
敷金及び保証金の差入による支出	△360	△218
敷金及び保証金の回収による収入	—	2,554
その他	△4,672	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,765	4,895
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,500	2,800
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,533	△14,033
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,033	△11,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	△577	1,822
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△81,674	△306,043
現金及び現金同等物の期首残高	1,050,965	997,186
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	10,577	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	979,868	691,143

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、情報通信機器販売並びにソフトウェア開発およびネットワーク構築から、納入したネットワークおよび付帯機器の保守サービスに至るITソリューション・サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。